

TSUNAGARI Magazine

Kizuna

金沢星稜大学同窓会誌

2019/8
Vol.30

同窓会会員
現在
20,080名

第30号発行記念

特集
1

歴代同窓会会長の 思いを受け継ぐ「Kizuna」

特集
2

卒業生インタビュー

泉 圭輔 さん (I部49期)

平成31年度3月卒業。同年、福岡ソフトバンクホークスにドラフト6位で入団。

《記念イベント情報》

- ・2019年度理事会開催
- ・金沢星稜大学就職状況報告
- ・活躍する在学生



5-11列 ▲
66
72
18列 ▼

歴代同窓会会長の 思いを受け継ぐ

Kizuna

今回、金沢星稜大学同窓会誌「Kizuna」30号の発行を記念して、歴代同窓会会長4名に編集に携わった思い出や大学生活などを振り返っていただきました。



初代会長
中田 邦雄
(経済学部一部1期)

つながりや絆が 人生を豊かにする

大学創立者で稲置学園理事長の稲置繁男氏から依頼され、初代同窓会会長を引き受けました。平成元年に同窓会誌「きずな」を創刊してから30号を迎え、感慨無量です。卒業後40年間、石川県職員と稲置学園の評議員を務め、大学や地域社会とのつながりの大切さを感じております。

大学で出会った恩師・溝上茂夫先生からは、教育学と人生学を学び、経営ゼミナールの恩師・奥村實先生からは、「経営とは後継者を育てることだ」と学びました。学長もされた小西滋人先生とは、今も素晴らしい「きずな」を続けております。3人の恩師の教えが私の人生を豊かにしてくれました。現在、会長を務める弥生地区連合長寿会(老人クラブ)と金沢星稜大学とが連携し、「教養講座」を開催でき、大学と地域のつながりに感謝しております。最後に、35年間会長を務めてきた者として大学と同窓会のご発展を心から願い、来年の50周年をお祝いたします。



二代会長
鳥居 茂
(経済学部一部1期)

建学の精神の ルーツを訪ねた 思い出深い「Kizuna」20号

同窓会誌「Kizuna」30号の発行おめでとうございます。と同時に2万人を超える卒業生を社会に送り出された大学の先生方及び職員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

10年前の同窓会誌20号で、創立者の稲置繁男先生生誕100年記念として、二代目理事長の稲置美弥子先生と対談をさせていただいたことが一番印象に残っております。二代目理事長と初代理事長の生誕の地(奈良県月ヶ瀬村)を訪ね、建学の精神のルーツなどを見聞させていただきました。「誠は天の道なり、これを誠にするは人の道なり」と自筆で書かれた色紙を拝見し、「誠実」の源泉に触れ、胸が熱くなりました。

会長当時を思い起こせば、無我夢中の4年間でした。リノベーションの連続や事業計画の推進、支部組織の活性化など、同窓会活動を盛り上げるために必死でした。

同窓生の皆様には、これからも同窓会のホームページやFacebook、同窓会誌などを通じて「絆」に思いを寄せていただくことを願っております。



三代会長
小嶋 一夫
(経済学部一部3期)

人生を変えた 空手道部の絆

大学同窓会誌「Kizuna」30号の発刊に際し、心よりお喜び申し上げます。

思えば在学中、まさか自分が同窓会会長を拝命するとは全く想像すらしていませんでした。学生時代は、空手道部で厳しい練習に汗を流し、部活とバイトに明け暮れる生活を送っていました。ただ空手道部の先輩や後輩の間に生まれた絆のおかげで、卒業後も他の部の先輩や後輩、学友ともつながりが途切れることなく続いております。

人の世は人と人との出会いから始まり、その親交を深めていくことで、自分の人生に大きな影響を与えてくれます。自分の人生を振り返れば、大学入学が出会いの始まりで、同窓会が文字通り「絆」を深めていく場だったと思います。

昭和、平成、令和と時代が移り変わっても、変わってはいけないものが人と人のつながり「絆」なのだと思います。

今後大学同窓会が「絆」をテーマに掲げながら歩み続け、発展していくことを心より祈念いたします。



四代会長
上野 雅司
(経済学部一部3期)

同窓生の交流活性化で 星稜絆ワールドを実現

同窓会誌「Kizuna」30号発刊にあたり、心からお喜びを申し上げます。これまで発刊に携わり、ご尽力賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

時は「平成」から「令和」へ、同窓会も来年、創立50周年を迎えることとなります。卒業生も、経済学部50期生、人間科学部10期生、人文学部1期生が新たに「Kizuna」の仲間入りをします。この大きな流れの中、同窓会も100年の将来像に向け、「Kizuna(絆)星稜ワールドビジョン」へのスタートを切ります。具体的には、現役学生と同窓生の交流事業や同窓生を対象とした経営ゼミナールの開講、県支部活動の活性化などを検討しています。その中でも同窓会誌「Kizuna」が果たす役割は大きく、同窓会と会員との架け橋となり、より「層強い絆」を育むものと確信しております。そして同窓生の交流を活性化させ、近い将来、「星稜絆ワールド」が形成されることを願っております。

最後に、全国に広がる同窓生の皆様のおすすめのご活躍を祈念申し上げます。

大学で人間的に成長できたから プロ野球選手の夢がかなった

福岡ソフトバンクホークス 投手
泉 圭輔さん
(経済学部一部49期)

金沢星稜大学初のプロ野球選手(NPB)として、昨年、福岡ソフトバンクホークスに入団した泉圭輔選手。緊迫する場面での登板が多いものの、初勝利を挙げるなどチームの快進撃を支えています。今後の活躍が楽しみな泉選手に大学の思い出などをうかがいました。

兄と喜び合った

プロ初勝利

4月、1軍に昇格すると、3試合目の登板で見事初勝利を挙げました。これまでのプロ野球生活を振り返ってみていかがですか。

今年の目標に「初勝利」を掲げていたものの、ソフトバンクは現在、日本シリーズ2連覇中で選手層も厚く、正直、これだけ早く1軍に上がり、初勝利を手にはできるとは思ってませんでした。初勝利となった試合(オリックス戦)は、0対0で迎えた6回無死1、2塁でマウンドに上がり、メネセス選

手にタイムリーツーベースを許したものの、これで逆に開き直り、考え過ぎず、ただがむしやに腕を振って、その後のピンチを切り抜けることができました。その流れに乗って次のインニングは三者凡退に抑え、内川さんの勝ち越しホームランやリリーフ投手、野手のバックアップもあって、3対1で逃げ切り、自分に勝ち星がつかしました。改めて入団以来、根気強く指導し、いつもの確なアドバイスしてくれる監督やコーチ、チームメイト、スタッフの皆さんに感謝しています。

初勝利の試合は、たまたま東京ドームだったので、東京で働く兄も球場まで駆け付けてくれ、一緒に喜びを分かち合いました。プロ入りするまでずっと実家暮らしだったので、これまで育ててくれた両親にも感謝の気持ちでいっぱいです。

大学で野球をするなら 北陸の強豪チームで

そもそも野球を始めたきっかけを教えてください。

小学3年の時、3歳上の兄が所属していた三馬クラブに自分も入部したのがきっかけです。その後も兄と同じ清泉中学校、金沢西高等学校と進み、結果として兄の背中を追うような形で野球を続けてきました。ただ高校野球で燃え尽き、大学進学の際、自分の実力にも自信が持てず、もう野球を辞めようと思っていました。それでも高校時代の監督や周囲のアドバイスもあり、自分も考え直し、どうせ野球を続けるならば両親にも負担をかけず、「北陸大学リーグで常に上位争いをしていて金沢星稜大学がいい」と思い、進路を決めました。大学では試合で抑えるたびに注目されるようになり、スカウトの数も増え、それとともに野球への意識や取り組み方も変わり、楽しさも増していきました。

プロ入りできたのは、大学生活の中で世

どこで投げても 力を発揮したい

今後の目標を聞かせてください。

1軍であれば、先発や中継ぎ、抑えなど自分のこだわりはなく、チームから「行け」と言われたところで力を発揮できる投手でありたいと思っています。また、最低でも10年間はプロ野球選手として、チームの勝利に貢献できる活躍をしたいと思っています。そしてプロ野球選手を目指すきっかけを与えてくれた中学・高校の先輩の北海道日本ハムファイターズの谷内亮太選手との対戦も楽しみにしています。



福岡ソフトバンクホークス 投手
泉 圭輔さん

(いすみ・けいすけ) 1997年石川県金沢市生まれ。金沢市立三馬小学校、金沢市立清泉中学校、石川県立金沢西高等学校を経て金沢星稜大学へ。同大学では1年秋からベンチ入りし、北陸大学リーグで通算23勝をマーク。2018年のNPBドラフト6位で福岡ソフトバンクホークスに入団。187センチ、82キロ。右投げ右打ち。背番号53。



金沢星稜大学 2018年度就職状況

主な就職先

【金融・保険業】

東京海上日動火災保険、日本銀行、日本政策金融公庫、北陸銀行、三菱UFJ銀行

【広告・出版業】

朝日印刷、高桑美術印刷、マイナビ

【製造業】

アイ・オー・データ機器、小松ウォール工業、コロナ、日医工、P.F.U.

【情報通信業】

石川コンピュータセンター、NECネットエスアイ、北陸通信ネットワーク、ユニアデックス

【卸売業】

トヨタ部品石川共販、PALTAC、ファミリーマート

【小売業】

イオンリテール、ユナイテッドアローズ

【運輸・郵便業】

西日本旅客鉄道、日本通運、ヤマト運輸

【サービス業・その他】

アイ・ケイ・ケイ、エイチ・アイ・エス、社会保険診療報酬支払基金、島&スターシップ税理士法人、福岡ソフトバンクホークス

【公務員】※（内は人数、実数）

国家公務員一般職（5）、国税専門官（1）、石川県庁（3）、富山県庁（2）、金沢市役所（4）、富山市役所（1）など計39名

【教員】※（内は人数、実数）

石川県公立小学校（13）、富山県公立小学校（6）、千葉県公立小学校（2）など計22名

【公立保育士】※（内は人数、実数）

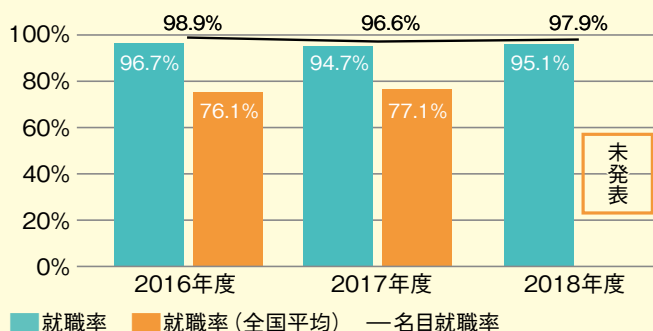
石川県公立中高保健体育（1）、富山県公立中高保健体育（1）

【公立保育士】※（内は人数、実数）

金沢市（2）、かほく市（2）、富山市（1）、南砺市（2）

※くわしい状況は大学HPをご覧ください。

過去3年の就職率



就職希望者数514人に対し、就職者数503人(留学生を除く)



卒業者数529人に対し、就職者数503人(留学生を除く)

Topics

金沢星稜大学同窓会 50周年記念パーティー

委員長挨拶

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、金沢星稜大学同窓会50周年記念事業実行委員長の大役を仰せつかりました、経済学部二部経済学科卒業・第24期生の奥村克司でございます。皆様のお力添えをいただきまして、記念事業を進めて参りますので、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、1971年3月、希望と大志を抱いた金沢経済大学第1期の卒業生192名が、蓮畑に囲まれた御所の地から羽ばたき、50年の歳月が経とうとしております。昭和、平成そして令和の時代を迎え、現在の金沢星稜大学は、3学部5学科と発展をしました。この発展は偏に、各方面でご活躍をされている同窓生のお力でもあります。

2020年3月、50期の同窓生を輩出すると同時に人間科学部10期生、人文学部の記念すべき1期生が輩出する節目の年にあたり、記念事業を実施することとなりました。

まずは、50周年記念パーティーの開催日時について案内申し上げますが、そのほか記念事業につきましましては、現在企画段階であります。是非とも同窓生皆様のご意見をいただければ幸いです。

なお、詳細が決まり次第、同窓会HP等でご案内いたしますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

金沢星稜大学同窓会
50周年記念パーティー

2020年(令和2年) 11月21日(土) 時間未定

お問い合わせ

金沢星稜大学同窓会事務局
kizuna@seiryu-u.ac.jp

2019年度 理事会・懇親会が開催されました

日時 2019年6月22日(土) 17時～
場所 ANAクラウンプラザホテル金沢

理事会では、次の議案について滞りなく
審議・承認されました。

《議案》

- 1、2018年度決算報告・事業報告
- 2、新常任理事・新理事について
- 3、同窓会会則改正について
- 4、2019年度予算(案)・事業計画(案)

《報告事項》

- 1、大学同窓会50周年記念事業経過報告
- 2、学生活動奨励賞について

理事会終了後、懇親会が開催されました。

上野会長のあいさつの後、来賓あいさつとして、稲置理事長、篠崎学長からお言葉を頂戴しました。

永坂副学長の乾杯の御発声を合図に、大学の先生方と同窓生との親睦が深まりました。ご出席いただいた先生方からは大学の近況報告があり、新たに選出された常任理事、理事からも頼もしい決意表明があるなど、なごやかな懇親会となりました。



活躍する在学生

人文学部国際文化学科4年次
ハマップ代表

麻田 佳葉

ハマップは、人文学部国際文化学科の学生5名が石川県を訪れるイスラーム教徒(ムスリム)観光客の食の利便性の向上を目的に立ち上げた団体です。

ムスリムは原則として、イスラームの教えで「許されたもの」を意味するハラールに該当する食べ物しか食べてはいけません。このため、非ハラール(ハラーム)とされる豚やアルコールを摂取することができないなど、日本人から見ると食に関して多くの制約があります。加えて、石川県にはハラールに対応した料理を提供する飲食店があるにも関わらず、その情報はムスリム観光客には殆ど知られていません。せつかく豊かな食文化を持つ石川県に來たのだから、ぜひムスリム観光客に食事を楽しんでもらいたい。この



思いから私たちは昨年度、「学生による海外誘客チャレンジ事業」(大学コンソーシアム石川主催)の支援と石川県在住ムスリムの協力のもと、金沢市内にあるハラール対応料理を提供する飲食店を掲載したハマップ(HAPPY MAP)を作りました。英語で作成したHAPPY MAPは、金沢市内の宿泊施設

平成30年度 学生活動奨励賞

金沢星稜大学同窓会が、学業・課外活動および社会活動において優れた功績のあった在学生に対してその努力を称え支援金を添えて表彰する「金沢星稜大学同窓会学生活動奨励賞」が行われました。

学長賞

【研究学業成績部門】

水口 彩花
舟田 早希

【課外教育活動部門】

宮野 冬馬
堺 亮介
泉 圭輔

優秀賞

【研究学業部門】

吉村 汐里

【スポーツ部門】

サッカー部
藤本 瑠奈

【社会活動部門】

金岡 天夢
池田ゼミナール

築田 慎平

結城 諒平

王生 健太

嶺村 佳那

西田 歩

活躍する同窓生

Shall we Dance?

経済学部24期 DANCE NEW WALK 主宰

近間 常孝

大学を卒業して半年ばかりたったとき、ふとしたきっかけでダンスに出合った。それは『ボールルームダンス』。通称は『社交ダンス』だが、正式の名称は『ボールルームダンス』という。

その頃は、ダンスで生計をたてるなど全く思っていなかったのだが：ダンスに出逢って、それに熱中していった。好きなものを趣味の段階でとめておけばよかったのに、どんどんハマっていった。その内、先生の薦めもあり、プロインストラクターの試験に挑戦、難なく合格した。その後、スタジオを開くこととなった。名刺交換のとき「へーダンスの先生？」と不思議そうな顔で言われた。

30代、40代は競技ダンスに取り組み、遠く大阪や東京へと足を延ばし著名なダンサーの指導を仰いだ。英国の元世界チャンピオンに習ったことは、今でも大きな財産となっている。



いま世の中は複雑であり、求められるものも多岐にわたっている。人災や天災が多く、不安な時代でもある。そういう今だからこそ、心の豊かさや、ゆとりをもった生活が必要だと思われる。その一つとして、ボールルームダンスはいかがだろうか。音楽にのってマナーよくダンスを踊ることによって、コミュニケーションの幅を広げ、きつと気持ちを豊かにすることだろう。

Let's try Ballroom Dance!
Welcome to DANCE NEW WALK!

保育士として大切にしていること

人間科学部こども学科 9期
2019年3月卒業

西田 歩

私はこの春、株式会社日本保育サービスに就職し、東京都にある保育園で保育士として働いています。2・3歳児、計16人のクラス担任をしており、毎日、元気いっぱいな子どもたちと楽しく過ごしています。

4月当初は、仕事を覚えることに必死でしたが、分からないことは積極的に周りの先生方に聞いて教えていただきました。そして、周りの状況を見て、自分が今、何をすべきかを考えて動くように心掛けました。

保育士という立場で、どのように子どもたちと関わっていけばよいのか悩むこともありました。着替えや排泄、片付け等の援助や声掛けをする中で、なかなか思い通りにいかないことがあり、子どもたちとの心の距離の差を感じました。そこで私は「対一で関わる時間を大切にし、



子どもたち一人ひとりと信頼関係を築くことを最初の目標にしました。大学で学んだことを思い出し、子どもたちの目線になったり、子どもたちの行動や発言から、その子どもの気持ちを考えたりしています。一人ひとりと向き合うことで、子どもたちも少しずつ、私に心を開いてくれてきたように感じます。

また、大学での学びを通して身につけた、物事を様々な視点から見たり、考えたりする力は、保育環境の構成や子どもへの援助、声掛け等をする際にとても大切であると感じています。

保育士として働き3カ月が経ちましたが、それ以上に楽しいことや嬉しいことがあると感じています。これからも、子どもたちと一緒に少しずつ成長していきたいと思っています。

編集後記

昨年度卒業生、泉投手の特集記事を読みながら、本学からプロ野球選手を輩出するなんて夢のようだと感じています。現在4年次生の学生もサッカーチームと契約し、プロの道に進むことが決定しました。来年、取材を行いたいと考えております。

秋の交流会も数年ぶりに開催が決定！実施内容は同封の案内を御覧ください。そして、ぜひ御参加いただき、旧交を温めていただきたいと思います。交流会の様子は、同窓会HPやSNS等でお伝えします。(H・T)

平成30年度 在校生支援基金の協力者名簿

皆さまからのご協力ありがとうございます

19期	18期	17期	16期			13期	12期	11期			10期	9期	8期	6期	5期	4期	3期				2期		1期	【経済学部1部】								
端杉保原一 聡誠	山宮武口 浦田敬慎 一淳一	山橋中 正昌英和	益津木谷 秀佳道孝 幸之明一	津河村上 幸征浩時	渡小辺山 下祐一	山崎信明	若本大久保 大野千隆 大坂美彦	吉中金野木 安清登彦	中田隆	宮腰正昭 喜一	作中浦昭 喜一	田中	橋本一 信義	松北嶋村 洋峰	若米高崎 林城田嶋 啓康正利 一光則秋 三光則秋	岡上野田 利雅司隆	藤村英太 秀俊郎	荻原森川 幸栄子一	岡村幸栄 章子一雄	石川幸栄 恒一雄	池田俊研 伸順	森山好本 谷古田	室三好本 谷古田		中土順 邦二	相本順 邦二	安藤藤 至					
匿名希望20件				39期	33期	32期	25期	22期	20期	19期	17期	9期	6期	4期	【経済学部2部】				48期	46期	41期	40期	38期	36期	34期	33期	30期	28期	27期	26期	23期	20期
匿名希望20件				石田 広行	宮西 一夫	小舟 章生	永井 清之	中山 孝仁	前川 静可	奥谷 欣浩	根井 隆一	川坂 君江	林勇 三	山村 崎松 哲繁 雄一	宮本 知博	辻口 徹	廣田 景子	橋本 健篤	酒本 人	宮本 翔悟	山下 恭久	米澤 祐樹	中澤 章昌 紀臣	服部 雅洋	伊藤 修二	高岩 誠	廿日 均	菊池 謙吾	島宏 和	武田 俊彦	平野 誠	

在校生支援金(1口)
2,000円
(1口以上何口でも可)

在校生支援基金の成果
今年度も私たちの後輩のスポーツ・文化面での活躍を応援するため、平成30年度金沢星稜大学同窓会学生活動奨励賞を贈りました。
引き続き、在校生への物心両面からのサポートを行っていきたいと思いますので、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

在校生支援基金のお願い
平成30年度在校生支援基金は多くの皆様の温かいご支援のもと、108件、334,920円のご寄付を頂きました。大変ありがとうございます。在校生支援基金は、在校生の皆様のスポーツ、文化、社会活動、留学生交流などにますますの活躍を期待し、物心両面から強固な支援をすることを目的としています。
つきましては、令和元年度におきましても、昨年同様、在校生支援基金に同窓会会員の皆様のご賛同、ご協力をいただきたきをお願いする次第です。

2019年度「市民講座」がスタート

金沢星稜大学では地域に開かれた大学として、教育と研究の成果を地域社会に還元するために公開講座等を通して地域の皆様に対し、広く学びの場を提供しています。その活動の一つが「市民講座」で、年間を通して本学教員が身近な事例や最新の情報などを取り上げてお話しします。

- 期間:2019年4月20日(土)～2019年12月21日(土) [入場無料] [申込不要]※希望する講座を自由に受講ください。
- 会場:金沢星稜大学 キャリアデザイン館4階 C44教室 他
- 主催:金沢星稜大学総合研究所

2019年9月21日(土) 13:30～15:00 講師:小河 久志 准教授

災害と社会・文化 ～複眼的な視点から災害をとらえる～

災害と聞くと多くの人が、建物の損壊などの「物理的な破壊」を思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし災害は、被災地の社会や文化とも密接な関係にあります。本講座では、社会・文化という視点から災害をとらえることで、災害が持つ様々な特徴についてお話します。

2019年10月19日(土) 13:30～15:00 講師:小磯 千尋 教授

インド4千年の健康法 ～ヨーガとアーユルヴェーダ～

日常に実践できるヨーガの呼吸法、アーユルヴェーダの知恵を紹介します。体を小宇宙と捉えるインドの哲学では、体を浄化する方法が伝えられています。その一端を体験していただきます。

2019年11月2日(土) 13:30～15:00 講師:中尾 真和 准教授

ニュースの見方が変わる法知識

ニュース等でよく目にする法律用語などの中には、法に詳しい人でなければイメージがわからなかったり、誤解していたりするものも多くあります。そこで、法にまつわる雑談を聞いてもらいながら、少しばかりの法知識を持ち帰っていただこうと思います。

2019年11月16日(土) 13:30～15:00 講師:西村 貴之 准教授

スポーツまちづくり

「スポーツを通じたまちづくり」、「スポーツを通じた地域活性化」の取組みへの期待が高まっています。地域の資源を活用したり、地域が抱える課題を解決しようとする、「スポーツまちづくり」の現状と展望について、具体的な事例を交えながら、参加者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

2019年12月21日(日) 13:30～15:00 講師:石野 卓也 准教授

家計調査からみる日本の現状 ～住宅を中心に～

現在我が国では、指定統計の不備が指摘され、公的統計に対する信頼が揺らいでいます。しかし、その一方で、統計データによる議論は近年普及しており、エビデンスに基づいた考察が求められています。今回は、指定統計とは別に行われてきた家計調査を紹介し、そのデータから日本経済の現状を皆様と考えてみたいと思います。

※11月2日(土)の講座は、流星祭に合わせて開催します。

お問い合わせ

金沢星稜大学総合研究所

〒920-8620 金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3984
FAX 076-253-3998
E-mail seiryu-research@seiryu-u.ac.jp

富山県支部活動報告と講演会等のお知らせ

2018年度 富山県支部講演会・懇親会

富山県支部では、総会と講演会・懇親会を別々に開催し、交流機会を増やしております。2018年度の講演会・懇親会は、2018年11月11日(土)に、富山県射水市「松原屋」(あいの風とやま鉄道・小杉駅前)において、講演会を開催しました。講師として、金沢星稜大学人間科学部、大森重宜教授をお迎えし、「身体運動文化」をテーマに、相撲など武を重んじた歴史、貴族の競技、農民が中心とした弓祭事との関連と歴史についてご講演いただきました。講演会終了後、懇親会を行い、大森教授や上野会長、中田相談役を囲み、幅広い年代の同窓生達が、杯を交わしながら、積極的に交流を行いました。



2019年度 富山県支部定期総会について

富山県支部の定期総会を7月13日(土)富山県射水市「大門総合会館」にて行いました。

平成30年度事業報告、会計報告、会計監査報告、2019年度事業計画、予算案などすべて承認されました。総会后、富山県支部創立20周年事業について協議いたしました。



2019年度 富山県支部 創立20周年記念事業について

富山県支部では、設立20周年を記念して、「ホテルニューオータニ高岡」を会場に同窓会懇親会を10月20日(日)に開催予定です。世代を超えた交流を図ることにより、今後の発展につなげて参りたいと考えております。講演会の講師は、金沢星稜大学・人間科学部、直江学美准教授です。詳細は決まり次第、文書や同窓会HP等でお知らせいたします。

お問い合わせ ▶ 支部長 渡辺(電話090-6274-8113)まで

金沢星稜大学同窓会関西支部 設立20周年記念懇話会報告

去る平成30年9月16日(日)京都タワーホテルに於いて、金沢星稜大学同窓会関西支部設立20周年記念懇話会を開催いたしました。

本会のため、金沢から、稲置理事長、篠崎学長、上野会長に御足労いただきました。

米崎副支部長の司会進行により、まず佐久間支部長の“20年の歩み”挨拶に始まり、篠崎学長の記念講演『私見、日本経済の潜在力について』ののち、上野会長の乾杯の音頭で会を開きました。

しばし懇談ののち、稲置理事長より最近の学園の様子などをお話しいただきました。

初めて参加された方もいらっしゃる中で、自己紹介をしていただくなど、常連の出席者とも和気あいあい語り合いました。最後に、市谷副支部長の中締めで散会となりました。



第33回金沢星稜大学同窓会ゴルフコンペ開催!

令和元年7月13日(土)に能登ゴルフ倶楽部に於いて、33回目となるゴルフコンペが開催されました。当日は、経済学部I部・II部の同窓生9名(I部 6名、II部3名)が参加し、年代の垣根を超えて和気あいあいとした雰囲気、ゴルフを楽しみながら交流を深めました。

プレー後は、表彰式を兼ねた懇親会が行われ、お互いの近況報告等を行いながら親睦を深めました。なお、成績については、下記のとおりです。

順位	氏名	学部・期	GROSS	HDCP	NET
優勝	川本 一義	II部 2期	82	9.6	72.4
準優勝	廿日岩 均	I部 27期	94	21.6	72.4
第3位	岩住 誠	I部 12期	96	21.6	74.4



ゴルフを通して、同窓生のきずなの輪を少しでも広げていきたいと考えておりますので、多数の方の参加をお待ちしております。

【事務局】経済学部I部27期
廿日岩 均(ハツカイワ ヒトシ)携帯:090-8703-0900